

## 資料 しまだエコ活動レポート

平成28年度に登録及び報告された「しまだエコ活動」を紹介します。なお、各活動については、市ホームページにも掲載しています。

### 島田市の循環型社会を考える会

◎活動名 島田市の循環型社会を考える会の活動

#### ●活動実績

平成28年度における島田市の循環型社会を考える会の主な活動は、「暮らし・消費・環境展2016」に参加し、展示ブースで前年度の活動報告を行いました。

また、島田市健康づくり食生活推進協議会、NPO法人しまだ環境ひろば、島田ガス、島田市環境課の協力を得て、エコクッキング教室を実施しました。参加者は22名でした。

子供や親子はもちろん、障害のある方への呼びかけも行い、数名が参加してくださいました。島田市健康づくり食生活推進協議会の会長長野さんがエコクッキングの意味と実践を指導してくださり、ごみも少なく、エネルギー消費も低くおさえて、かつ栄養の高い料理を作りました。



### NPO法人 しまだ環境ひろば

◎活動名 竹林の保全・管理

#### ●活動実績

しまだ環境ひろばは、山奥の森林整備までは出来ませんが、旧市内の北部山すその里山くらいは整備しようと、設立以来、里山の再生活動に取り組んできました。

島田市内の里山の多くは、農家の高齢化により手が入らず、孟宗竹が暴走し、放置して荒廃した竹林が目立ちますので、竹林の樹種転換とその維持を目的に活動を展開しています。

平成28年度は、「公益社団法人 静岡県緑化推進協会」と「志太榛原地域森づくり連絡会」の支援を頂いて、次のような活動を行いました。

(1) 市内伊太・八幡宮西竹林を果樹園に樹種転換、そのための園内整備に努めています。





(2) 市内伊太・八倉町公会堂横の荒廃竹林を再生し、雑木林・散策道・沢の整備活動をしています。



◎活動名 梅林の保全・管理

●活動実績

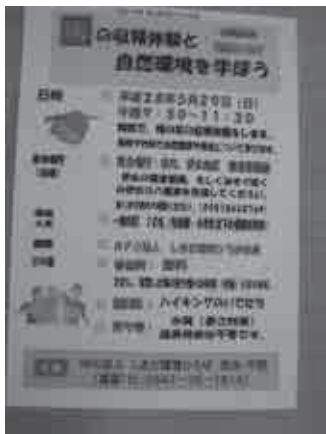
島田市の伊太地区は、実を収穫する梅の産地で、梅まつりも開催するなど最近有名になってきました。観光目的の梅と違って、花は白に近いピンクですので、見映えはあまり良くありませんが、それでも各農家が密植した梅林を作っていますので、開花のシーズンは、見学者で賑わいます。

しかし、地域の人口減に加えて、農家の高齢化によって耕作放棄の梅林が増え、地元の市民団体に維持管理を一任する農家が急増しています。4年前、「しまだ環境ひろば」にも、地域の農家から管理を委託したいとの話があり主に会員配布用の梅を育ててきました。

平成28年度も、会員の手によって、剪定・施肥・摘花・指定農薬の散布などの作業を地道にこなし、去る5月29日には、市民を集めて、静岡県緑化推進協会共催 しまだ環境ひろば塾「梅の収穫体験と自然環境を学ぼう」を開催しました。

当日は、第一テレビの取材もあり、県内ニュースでも放映されました。

(1) 案内チラシを作り、公共施設の掲示板やインターネットで参加者を募集



(2) 今年も、会員が剪定・施肥・摘花作業をしっかりと行って豊作でした。



(3) 市民のみなさんも一緒になって収穫しました。



(4) 収穫した梅はその場で計量して安価で参加者に配布しました。



### ◎活動名 御仮屋市民農園の開設と維持管理

#### ●活動実績

住宅地の耕作放棄地は、雑草の花粉が飛んだり、病虫害が湧いたり、周辺に多大な迷惑となっています。

旧国道1号線 栃山橋西側土手を北(山側)に入った直ぐに600坪弱の耕作放棄地があり、地主さん、島田市、JAさん、しまだ環境ひろば4者の話し合いにより市民農園として再生することになり、その維持管理を、「NPO法人しまだ環境ひろば」に任せられ、「御仮屋市民農園」として平成24年10月に開園しました。約600坪弱の面積を、約6坪程づつ41区画の畑をつくり、希望する市民に貸し出し、平均して25名程の一般市民が参加して、思い思いの野菜を作り地産地消や、食料を大事にする気持ちの醸成など、市民の環境意識の向上に貢献しています。日頃の活動は、野菜作りの相談に乗ることや、作業道や畦など共有場所の雑草刈りが主で、平成28年度も草刈りに追われました。

(1) 平成24年の開設時の御仮屋市民農園



(2) 現在の、同角度から撮影した農園です。





(3) 園内に設置した「憩いの広場」も整備 (4) 農機具や肥料を置くための収納小屋も完備



(5) Aさんの大根畑も元気に育っています。 (6) Tさんのジャガイモも、威勢が良いです。



◎活動名 休耕田を利用した「コミュニティ農園」で地産地消

●活動実績

しまだ環境ひろばが、耕作を放棄している農家と相談して「中溝町 コミュニティ農園 350 坪」を開設してから7年が経ちました。350坪の内、80坪は、20区画に区切って、個人市民農園として、市民に無料で貸し出し、残りの270坪は、共同畑として、平成25年までは、夏から秋は、「枝豆・大豆」を、秋から初夏まで「菜の花」を栽培し、周囲の景観維持を始め、収穫物を使って、「手づくり味噌体験会」や、「菜種油の保育園寄贈」など、市民に大変喜ばれて今日に至っています。平成26年度からは、当会の会員減や高齢化で、大豆と菜の花の2毛作は困難になり、大豆のみの栽培に絞っています。

平成28年度は、次のような活動を行いました。

(1) 7月初旬に植え付けた大豆が実り、10月14日、市民と共に、一部を枝豆で収穫しました。



(2) 6月に苗植えしたサツマイモは10月に収穫 (3) 大豆は12月に刈り取り天日干し、大豊作!



(4) 個人畑では、Mさんの畑でサトイモが、Yさんの畑では、ズッキーニが元気に育ちました。



#### ◎活動名 小水力発電の研究と導入促進

##### ●活動実績

世界各地で、気候変動による異常気象や現象が頻発し、原因が地球温暖化に起因していることは誰の目にも明らかです。地球温暖化防止の動きは、国際的には、2015年12月、パリで開いた「第21回国連気候変動枠組み条約締約国会議（COP21）」で、「パリ協定」が採択され、その一年後、多くの国々が批准して発効しました。

日本も、2030年の電源のベストミックス（再生可能エネルギーを22～24%）と、温室効果ガスを2030年までに2013年比26%削減目標を公表、「パリ協定」も批准して新しい目標に向かってスタートを切りました。

地球温暖化防止活動は多岐に渡っていますが、カギを握っているのは、再生可能エネルギーの創出であり、島田市内に豊富に流れている大井川用水路を活用した、「小水力発電」は極めて有力な手段です。「小水力発電」は、全国的にも活用が遅れており、資源に恵まれた島田市は、市民（団体）・事業者・行政が協働して、全国の模範になるよう先導を期待されています。

しまだ環境ひろばは、平成28年度、次のような活動を行いました。

(1) 島田市ゆめ・みらい百人会議に2名の会員が参画し、行政と一緒に「島田市小水力発電推進合同検討会」を設置・検討し、大井川用水を活用しての小水力発電の推進に道筋を付けました。

(2) 平成 28 年 7 月に発電開始した「島田市細島発電所」を見学しました。同発電所は、伊太発電所と共に、環境教育の現場拠点とすることを、合同検討会で決定しています。



(3) 平成 28 年 10 月 15 日「島田市・暮らし・消費・環境展 2016」に「島田市小水力発電推進合同検討会」と共催して展示コーナーを出展、児童たちも興味深々でした。



◎活動名 市民の環境意識向上のための広報活動

●活動内容

「しまだ環境ひろば」は、「第一次 島田市環境基本計画」策定のため集まった、「市民百人会議」を母体として結成された市民環境活動団体です。従って、「環境基本計画」に書いた市民の取組みを全方位で取り組み、それを広く市民に広報して、市民の間に浸透する努力を重ねてきました。

平成 28 年度は、次のような広報活動を行いました。

(1) 平成 28 年 10 月 15 日「島田市暮らし・消費・環境展 2016」に出展し、「燃えるごみを半分に減らそう、楽しくごみ減らし♪いいこと待っているぞ」の大説明看板を製作展示して家庭ごみの減量化を訴えました。





(2) 同展示会では、2つの団体と共催して、再生可能エネルギーとエコクッキングも訴えました。



(3) 6月19日「静岡県母親大会」の助言者を努め、再エネ発電所を案内しました。

(4) 島田市地域交流センター歩歩路の掲示板を定期的メンテナンスを行っています。



(5) しまだ環境ひろばでは、「はてなダイアリー ⇒ eコミュニティしまだ」にブログ開設し、「しまだ環境ひろばの日記」を毎日配信し、平成29年3月末で、2400号に達しました。記事の内容は、環境関連（自然・エネルギー・地球温暖化・ごみ・環境教育）の新鮮な話題に絞っています。

◎活動名 しまだ環境ひろば塾の開催

●活動実績

「しまだ環境ひろば」は、平成15年8月設立以来13年間、市民環境教育を開講してきました。平成23年までは市からの委託業務として、平成24年以降は、自前の「しまだ環境ひろば塾」として衣替えして、毎年10回余の開催をして今日に至っています。

どんなに良い活動をして、それが一人よがりになったり、市民に浸透する活動にならないと意味がありませんので、市民塾を開催して市民に広く訴え、普及活動を行っています。

平成28年度は、次のように開講しました。

(1) 平成28年5月29日「梅の収穫体験と自然環境を学ぼう」を開催

(2) 10月15日、他の環境団体と共催して「エコクッキング教室」を開催



(3) 11月20日「里山の再生活動に参加しよう」竹林伐採と道の修復作業を実施



(5) 1月29日「里山の再生活動に参加しよう。第3弾」ハイキングコース修復



(4) 12月25日「里山の再生活動に参加しよう。第2弾」森の作業道の修復作業



(6) 2月8日「島田市のごみについて考えて見よう」金谷小5年生ごみ調査グループ



(製作したパワーポイント画面)

(6)「新春 手づくり味噌体験会」

しまだ環境ひろばでは、平成21年、地主の承諾の下、耕作放棄地を「中溝町 コミュニティ農園」として再生を行い、以降7年間、会員や市民と協働で大豆を栽培し、手づくり味噌に加工して、地産地消・伝統食の継承・安心安全な食品づくりを行ってきました。平成28年度は体験会を6回開催しました。

- ① 1月15日(日)は、「元ぼかしネットワーク」 ② 1月16日(月)は、「元気で歩こう会  
島田」の主婦のみなさん。





③ 1月21日（土）は、向谷町Tさんのグループ 主婦のみなさん。



島田市相賀地区で立ち上がった、地域起こし団体「相賀の里を良くする会」を支援して「手づくり味噌の体験会」を立ち上げ、協賛しました。

④ 1月18日（水）は、市・農林課さんと協力して、一般市民と相賀住民の体験会でした。

⑤ 1月26日（木）は、市・健康づくり課さんの協力で、保健委員さんと相賀住民のコラボでした。



（注）会場・参加人数などは、別紙の「しまだ環境ひろば塾」開催一覧表をご参照ください。

◎活動名 環境保全活動の進行管理の推進

●活動実績

「しまだ環境ひろば」は、前述のとおり「第一次 島田市環境基本計画」策定のため集まった、「市民百人会議」を母体として結成された市民環境活動団体で、「第二次島田市環境基本計画（10年計画）」においても、市が設置した「市民環境会議」に加わり策定に関わってきました。

島田市環境基本計画の特徴は、計画を進捗管理するとともに、必要に応じて見直しを行っていく、PDCA サイクルを採用していることです。

平成 25 年度までは、市から計画に書かれた「市民の取組み」のPDCAに関する取りまとめ業務を委託され、平成 26 年度からは、制度の変更により「しまだエコ活動報告」になりましたが、自団体内では、平成 26 年度以降もPDCAを確実に13年間継続実施して今日に至っています。平成 28 年度のPDCAは次のように行いました。

(1) 平成 27 年度の総括と、平成 28 年度活動計画を立案、(過去 13 年間の総会議案書)



(2) 総会資料をもとに、4月 25 日通常総会を開催して、前年度進捗フォローと新年度計画を承認



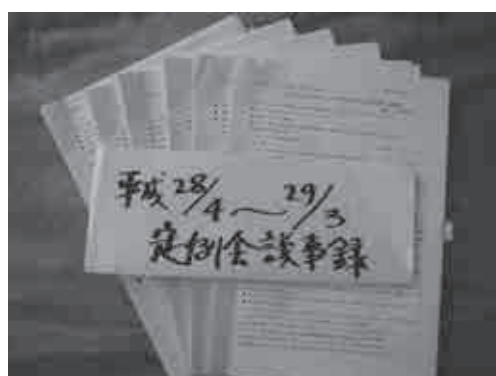
(3) これらの結果は議事録にまとめ、県には「事業報告書」等、法務局には、「定款・役員変更登記」「財産登記」等を提出しています。

(4) 通常総会終了の翌日から、「総会資料の事業計画書」に基づいて活動を開始しました。

(5) 隔月で、定例会を開催し、過去 2 ヶ月の進捗状況のチェックと、2 ヶ月先の活動計画を確認しています。



(6) 開催に先立っての事前議題登録、開催に当たっての開催通知(報告・協議事項)、終了後の議事録は翌日発行し、会員へ全員配布しています。



(7) しまだ環境ひろばでは、市民との接触のある機会(しまだ環境ひろば塾・農林課主催の地産地消連絡会・学校給食課主催の地産地消推進連絡会など)に、島田市環境基本計画の存在とその進行管理について努めてPRしています。

#### ◎活動名 タイタンピカスを植えよう

##### ●活動実績

タイタンとは、ギリシャ語由来で「とても元気な神様」という意味から来ているとのこと。

開花は 7 月中旬から 10 月の 3 ヶ月間で、暑い盛りに大輪の 5 種類の花が毎朝次々と咲きます。

当会会員が「居場所づくり」の一環として平成 27 年度、本活動を提案し、しまだ環境ひろばの活動としてやっていくことになり今年度はその 2 年目です。

場所は、「しまだ環境ひろば 御仮屋市民農園」の東側土手と、「しまだ環境ひろば中溝町コミュニティ農園」の北側土手で、それぞれ道行く市民を和ませ、癒しの場になっています。

平成 28 年度は次の活動を行いました。

- (1) タイタンピカスは、花が終わると幹が枯れて美観を損ないますので、晩秋には下から 10cm 位を、目印として残して切り揃えを行い、また周りの草も刈って養生作業を行っておきました。



- (2) 今春、殆どの株が芽吹きました。

- (3) 2つの農園で、7月末～10月まで、色とりどり（5色）の花が咲き、農園に参加している市民や、大津谷川の土手を行き交う市民を喜ばせました。

御仮屋市民農園 タイタンピカス畑

中溝町コミュニティ農園のタイタンピカス畑



◎活動名 生ごみの堆肥化の普及活動と生ごみ分別収集の調査・研究

●活動実績

しまだ環境ひろばは、平成 15 年に設立以来、家庭から排出される「生ごみの自家処理化（堆肥化）」に取組み、「さんさんBOX式」と「腐葉土式CBコンポ式」にたどり着き、会員がそれぞれトライして今日に至っています。島田市は、「電気式生ごみ処理機」や「キエーロ法」に助成金を付与してその普及を図っていますが、しまだ環境ひろばは、前述の全ての方式を対象にして、実証実験や、講習会を実施して全ての「生ごみの自家処理容器」の普及に努め、市のごみ処理経費の削減を目指しています。

平成 28 年度は次のような活動を行いました。

- (1) ゆめ・みらい百人会議に 2 名の会員が参画し、行政と一緒に「ごみの更なる減量化推進合同検討会」を設置し、生ごみの自家処理の促進について鋭意検討、平成 28 年度ごみ収集カレンダー「生ごみ処理容器等購入補助金制度」の改定・施行に協力し貢献しました。



(2) 会員のTさんを主導に、「さんさんBOX式」による生ごみ自家処理法を推進しました。

さんさんBOXで生ごみを一次発酵



スタンドバックに移して二次発酵



(3) 会員のHさん、Mさんを主導に、「腐葉土式」による生ごみ自家処理法を推進しました。

専用バケツで、生ごみを分別



生ごみを床材と混ぜて、丈夫な布袋に入れて、  
2週程発酵させて完了、堆肥の出来上がり。



◎活動名 伊太谷川清掃活動

●活動実績

平成 28 年度の活動は、伊太谷川の清掃活動を 3 回実施しました。燃えるゴミ、空き缶類等多くのゴミが回収されました。活動結果は以下のとおりです。

伊太谷川清掃活動			
日時	参加人数	場所	ゴミ回収量
H28.6.2	17 人	菰川橋～伊太谷川橋 約 400m	燃えるゴミ 8kg 空き缶等 2kg
H28.10.12	14 人	静居寺橋～菰川橋 約 400m	燃えるゴミ 3kg 空き缶等 2kg
H28.11.29	10 人	菰川橋～伊太谷川橋 約 400m	燃えるゴミ 5.5kg 空き缶・ビン 1.5kg



**NPO 法人 しろやまゆいの会**

◎活動名 地域の自然環境の保持と住民の生活向上

●活動実績 しろやまゆいの会では、自然の環境の保持や地域住民の健康で文化的な生活の向上を目指して、下記の7事業について活動を行い、活力ある地域づくりに寄与しました。

平成 28 年度 事業報告				
事業名	事業内容	実施日	従事人数	実施場所
自然とのふれあい事業	湯日っ子の森草刈り	7/16、12/3	40	空港アクセス道路 北側方面
	湯日っ子の森植樹	3/4	5	
	太陽光発電施設芝桜等管理	4/1～3/31	98	
	芝桜管理	4/15～月1回	53	
	芝桜植付け	1/14、1/22、1/23、3/9、 3/11		
文化の伝承事業	炭火烧体験イベント	2/18、3/11	21	炭焼き窯
自然保護事業	下草刈り	11/5、12/3、12/10、 12/17、12/21、12/25	58	長間谷
	間伐	1/20、1/24～1/27	31	谷田川報徳社
自然保護事業	草刈り	4/17、5/28、5/30、7/30、 8/10、9/17、9/18、11/5、 12/18	122	養勝寺川
	竹林整備、竹林間伐	1/11、2/17	13	原の平吹木線沿い
	草刈り	7/10	5	湯日小学校校庭
しろやま公園活用事業	七夕祭りイベント	8/7	22	しろやま公園
	除草、芝刈り	4/18、11/27 6～11月(月1回)	46	しろやま公園

**大津谷川を愛する会**

◎活動名 大津谷川清掃活動

●活動実績 大津谷川を愛する会では、毎年3月の第2日曜日に大津谷川と伊太谷川の合流地点より上流部の大津谷川の清掃活動を実施しています。

活動日：平成29年3月12日

参加者数：170人

場所：大津谷川と伊太谷川の合流部から、大草、尾川に至る河川

回収量：軽トラック8台分のごみ



清掃活動の様子



## 水と里山を守る会

◎活動名 里山・里地整備 荒廃耕作地を再耕作

### ●活動実績

市街地周辺の中山間部や農家の裏山の茶畑などが耕作放棄され続け竹林に遷移しています。速い速度で拡大する暴走竹林は手の入らなくなった荒廃したスギ・ヒノキ林に侵入し枯死させて一帯を大きく変貌させています。「水と里山を守る会」では荒廃竹林の伐採や荒廃が著しい里山の再生、荒廃里山樹林森の整備を行っています。平成28年度につきましても、下記のとおり活動を実施しました。

#### (1) 里山・里地整備 荒廃耕作地を再耕作

もと放置竹林、荒廃茶畑を伐採撤去⇒覆土⇒石ひろい、除去⇒耕転⇒排水溝設置⇒全面堆肥を施す⇒耕作⇒育苗

本年度は、再耕作（石ひろい、排水溝整備、施肥、下草刈り、いのしし対策、育苗）

新たな耕作放棄地の整備 里地・里山の整備、雑木林の整備

大豆、料理用のトマトなども試験栽培（防獣ネットなども必要となる）

#### (2) 荒廃整備・竹林間伐、再竹林化の抑制整備、混交林化促進



「厚労省推奨竹林皆伐法」による整備の様子

#### (3) 森づくり県民大作戦



そば畑のための耕転、竹の伐採と活用の様子



そば植えの様子

そばの収穫

**ふるさとの森**

◎活動名 森のクラフト教室

●活動実績

ふるさとの森では、自然素材である地元の木材を利用して工作を行う「森のクラフト」を実施しています。子どもから高齢者まで、自分で木を切り、形を工夫して作成します。平成28年度に付きましても、様々な場所に出向き開催しました。

イベント名称	会場
金谷公民館まつり	みんくる
焼津東益津地区親子ふれあい	焼津東益津公民館
静岡ゴミゼロフェスタ	静岡市清掃場内
代官町地区親子ふれあい	代官町地区会館
島地区親子ふれあい	島地区公民館



森のクラフトの様子

**御林守河村家を守る会**

◎活動名 文化財周辺風景の維持管理

●活動実績

御林守河村家を守る会では、市の指定文化財である「河村家住宅」の周辺風景の維持管理をしています。草取り・草刈り・修理等を実施し維持管理をする一方で、刀剣や青仏の展示等を開催し、多くの方に見学してもらえるようにしています。平成28年度の活動実績については以下のとおりとなっています。

平成 28 年度 活動実績			
実施日	活動内容	実施日	活動内容
4/30	産業支援センターへクラウドファンディング相談	10/16	初期島田茶業史展 1 日目
5/15	刀剣展	11/5~11	展示会準備
5/26	草刈り	11/13	初期島田茶業史展 2 日目
6/1	白蟻・防蟻処理	11/23	展示会準備
7/16	文化財関係者来訪 15 名	12/4~25	青佛展
7/23	防蟻処理	1/10~31	青佛展
7/31	刀剣展	1/21	金谷小学校生徒 60 名来訪
8/7	草取り	2/28	古文書展（もちつき大会）
10/11~14	草刈り	3/29	俳句会 25 名来訪
10/15	内覧会		



### JA 大井川女性部島田ブロック

◎活動名 環境美化ゴミ拾い運動

●活動内容

JA 大井川女性部島田ブロックでは、平成8年度から年 1 回大井川河川敷にて、農家の田畑を潤してくれる大井川に感謝の気持ちを込めて美化活動を行っています。平成 28 年度も多勢の方にご参加いただき実施しました。

活動日時：平成 28 年 9 月 3 日(土)

参加人数：約 80 人







大井川河川敷にて清掃活動の様子

**特定非営利活動法人 里山仕事・しょんた塾**

◎活動名 里山整備

●活動内容 里山仕事・しょんた塾では、里山整備をはじめとする、様々なボランティア活動を行っております。平成28年度につきましては、諏訪原城跡の歩道にウッドチップを敷設しました。

平成28年5月中旬から6月下旬にかけて、ウッドチップを約16m<sup>3</sup>、城跡内の歩道に幅70cmほど敷いた。文化財系の協力を得て、一般参加者7人と共に行った。

この活動は「しずぎんふるさと環境保全基金」の助成を得て実施した。



## 里山どんぐりの会

◎活動名 里山づくり(人工林・雑木林の育成)

### ●活動実績

年間を通して週3日、1日4人程度による以下の作業を行いました。

平成28年度 活動実績①	
1.	杉桧の混合林(約1.05ha)の環境伐(47%) 伐採木は、①土留め用に水平に設置、②作業路造成杭としても利用
2.	混合林に侵入した竹林及び放置竹林の整備(約1ha)
3.	ホタル水路沿いの放置雑木材の整備
4.	バラの丘西ハイキング道の整備及びバイパス側道隣接山林の整備
5.	放置竹林を活用して、幼稚園に七夕用竹を25本提供

◎活動名 「森づくり県民大作戦」

### ●活動実績

平成28年度 活動実績②				
イベント名	実施日	場所	参加者	活動内容
どんぐりの苗木植樹と タケノコ掘り	4月16日	大草	54人	牛乳パックで育てた6種類の どんぐりの苗27本を竹林整備 後の山に植えた。
どんぐりの森を作ろう	6月26日	大草	6人	5種類のどんぐりの苗60本を 環境伐整備後に植えた。
竹林の整備体験	8月6日	大草	6人	伐採竹を利用し、流しソーメン 樋、竹コップを作る。
どんぐりの森を作ろう (第2弾)	10月29日	大草	8人	5種類のどんぐりの苗60本を 環境伐整備後に植えた。

## 島田瓦斯株式会社

◎活動名 エネルギー・環境教育

### ●活動実績

島田ガス(株)は島田市を中心にエネルギーを供給する企業の責務として、地域に根ざした環境活動に参加  
や次世代教育の支援をすることを進めています。

〈日本ガス協会資料〉

### ①島田市暮らし・消費・環境展

平成28年10月15日に「島田市 暮らし・消費・環境展」に参加しました。島田市民の皆様、島田  
ガス(株)が供給する都市ガス「天然ガス」の社会的安定性、地球境の優位性について、さらに家庭でガスより  
水素を取り出して発電する「エネファーム」を利用することでCO2の絶大な削減効果について、パネルや  
資料による展示を行いました。

温室効果ガスとして主に問題になっているCO<sub>2</sub>排出量削減について、天然ガスが排出するCO<sub>2</sub>量が石炭と比較して57%に抑えられます。

また、現在の石油中心脱却へのエネルギー資源の分散利用として、天然ガスの活用が重要であることを広報活動しました。

資料として、一般社団法人 日本ガス協会 (<http://www.gas.or.jp/>) の発行する教育冊子や、貸出パネルや貸出模型を活用しました。



## ②次世代教育活動

次世代を担う子供たちを中心に、エネルギーや環境についての重要性を学んでいただくための取り組みとして出張授業を実施しています。

平成28年8月5日には島田市伊太の田代環境プラザで、「平成28年度夏休み親子環境学習講座」を島田市と共同開催いたしました。

また、市内の小学校3校でも出張授業を開催させていただきました。講師として静岡ガス株式会社の岩ヶ谷昌敏氏をお招きし、「環境にやさしい太陽光発電と天然ガス」の講義や、光による発電、マイナス196℃の液体窒素に野菜を入れてその変化を見る実験などを行いました。

天然ガスは、採掘地にて超低温処理により液化され、体積を気体比1/600にすることでタンカーによる輸送を可能としており、参加された皆さまにはこのような冷却実験を通して、仕組みをご理解いただきました。



<夏休み親子環境学習講座 当日の様子>



<小学校での出張授業の様子>



### ③食育・全国クッキングコンテスト

昨今、子供たちの食生活の乱れが心身の発達に及ぼす影響が指摘されるなか、「食育」が注目を集めています。「食育」とは、未来ある子供たちのために、栄養の大切さ、食事の自己管理能力を育むものです。その食育運動として、「一緒に作ると楽しい！おいしい！！」をスローガンに全国親子クッキングコンテストを他のガス事業者と共に開催しています。

2016年第10回大会では、多数の応募者の中から2組の親子代表が県内地区予選に選出し、東海ガス㈱ショールームの会場で親子のチームワークでオリジナルのレシピを完成させました。料理人などのプロの審査を受け、8組中上位2組に選ばれ、静岡ガスショールームでの県大会まで進むことができました。



### 資料 島田市環境報告書に寄せられた意見と回答

第2次島田市環境基本計画において、公表した島田市環境報告書については、意見を募集しそれに対する回答を次年度島田市環境報告書に掲載することとされています。

平成28年度に作成しました環境報告に対するご意見は特にありませんでした。